

nakatombetsu town guide

中頓別町勢要覧

なかとんべつの歩み

資料編

町の沿革	2
町のあゆみ	7
地勢と自然	9
人 口	10
教育・文化	12
産 業	14
生活環境	16
交通・治安・消防	18
行政・議会	19
財 政	20

1. 町の沿革

1. 行政の沿革

その昔、北海道が蝦夷と称された時代を経て、明治政府は明治2年太政官布告をもって北海道と改称し、国郡の区画と名称を定めて1国86郡を設けた。

明治5年、函館などに支庁長を置き、札幌本庁に政務を統一した時代、宗谷地方は北見国と天塩国と合して宗谷開拓吏庁に属した。明治15年2月、開拓吏庁を廃して函館・札幌・根室の三県を置き、当地方は札幌県に属し宗谷郡役所に移された。明治19年、北海道庁を札幌に置いたが、これより先10年にこの地方は町村の編成をみて枝幸外4村を形成し同24年9月には宗谷・枝幸両郡戸長役場から分村、枝幸外3村戸長役場を開設している。

さて枝幸地方（当時中頓別地方はこの中にある）は、明治12年7月、宗谷郡役所管轄の宗谷戸長役場の派出吏員枝幸村駐在の谷梯東太が枝幸地方4ヶ村（枝幸・頓別・歌登・礼文）を併せ統轄係とされたのがこの地方行政の初めというべきである。以来、漁業の発展に伴い沿岸漁民の数も増えて村落の形態も整い、急速な新制度の設定など変遷を経て明治24年9月、枝幸・頓別・歌登・礼文戸長役場を開設、枝幸に役場庁舎を置いた。当中頓別地方は頓別村の一地方に属し、その後開発の進展に従い明治42年4月、戸長役場より昇格して北海道二級町村制による枝幸村を公称するに至った。以後、枝幸村は開拓の進展めざましく、鉄道の開通とも重なり急激な開発をみて、大正5年4月、頓別村を分村、頓別村はさらに大正10年4月中頓別村を分村し、それぞれ独立した自治体を形成したのである。

中頓別村が分村する前、枝幸村が二級町村制を敷いた時代、部長設置規則により、中頓別地方から農場主である道徳安二が部長（第10部長）に任命され、村会議員には薩摩農場管理人松山丈之助（明治43年）及び常本常吉（明治44年）が当地方を代表して村政に参画した。

中頓別地方は殖民区画の結果、頓別原野と称し、その中心をなした頓別原野36線は、現在の中頓別市街の一帯をいい、大正5年に鉄道が開通した際、アイヌ語のトゥンベツ（沼、湖のある川の意）より転訛し、頓別川の中流にある意をもって駅名を中頓別とし、小頓別・上頓別も同意によって名付けられ、敏音知（ピンネシリヌプ

リ男神の山）・松音知（マツネシリプリ女神の山）の5駅が設置された。

付近部落は急激な開発をみて、大正10年4月頓別村から分村時に、中頓別市街地は諸官公庁、工場、事業所、商店街の都市的形態は母村を凌駕するに至った。村名は役場所在地で名寄以北稚内に至る宗谷線（旧天北線）随一の市街地として発展していた「中頓別」をとって村名とし二級町村制を実施した。

こうして、開拓殖民の急激な入植、木材の伐採とによって誕生した中頓別村も、その後の原木不足と全国的不況などにより転出者が続出（昭和3～7年）し、不況時代を経て純農村的形態を作り始めた。その後の経済恐慌の試練や戦争経済下の農村の使命をはたし、昭和21年5月一級町村に昇格、昭和24年11月町制を施行、現在に至っている。

2. 開拓の沿革

頓別原野の開発の歴史では、最初に頓別川の砂金の採取をあげなければならない。明治30年頃、頓別川の支流「ウソタン川」の上流に豊富な砂金が発見され、この頓別川一帯に砂金採取に入り込む者が急増した。採取者が順次上流に移るに従い、いよいよ有望となり、その上流に注ぐ「ペイチャン川」にも多数の採取人が入り込み「ウソタン川」流域と合わせその数16,000人を数え、一時は「東洋のクロンダイク」とまで喧伝された。

密採者もまた多く、「ペイチャン川」流域にはその数5,000人とまで噂され、密採時代を現出、明治33年には警部1名、巡査5名を配置し取締りに当たった。

しかし、両流域とも漸次産出額が衰えだし、明治39年までに大半が下山している。

当時これらの産金は、頓別川を下り浜頓別に出て浜伝えに枝幸に出るもの、あるいは「ペイチャン川」の上流「ポロヌプリ岳」の山麓を縦断して陸路枝幸に出るものと、いずれも枝幸が商いの中心となり盛況を極めた。往復10数日を要して往来していたもようである。

この「ペイチャン川」の砂金採取の場所は現在の兵安の奥地であり、その後も少数であるが「ピラカナイ川」「シウマルネツ」「シュルクオマナイ」「ワッカウエン」「トレロマツ」「一の沢」「間の川」「中の川」といった頓別川の支流での採掘が長く続き、あるいは中小の企業の営みもみられ昭和初期まで続いていた。

明治33年、頓別原野39線殖民区画が設定されたこと

により開拓が始まり、当時は全村うっそうたる原始林と熊笹におおわれてヒグマなどが横行していた。

明治 34 年、檜原民之助が砂金採取から狩猟に転じ頓別原野 36 線（現中頓別市街附近）に仮小屋を作り、翌年から農耕に従事したのが中頓別農業の始まりであり、本町開拓の始祖である。以来、国の植民の奨励により開墾に従事するもの年々その数を増してきた。

その入植の経路としては、

（１）枝幸から浜伝いに頓別川口に着き、川伝いに頓別原野 36 線に至ったもの。

（２）鉄道宗谷線名寄、咲来から徒歩で天塩ポンピラ（現中川町）を経て頓別川の上流「ピンネシリ」（現敏音知）「マツネシリ」（現松音知）を山越して頓別川を下り、36 線（現中頓別市街）に来たもの、またそのまま敏音知・松音知に定着したもの。

（３）咲来から頓別原野（旧歌登町）を経て上頓別原野（現小頓別、上頓別）に入植したもの。

（４）咲来から天北峠を越えて上頓別原野に入植したもの。

以上が主たる経路で、特にこの時代の頓別川は重要な交流機関で、浜頓別や敏音知方面からイカダ・アイヌ舟による物資の運搬往来がなされ今日の基を開いた。

頓別原野 36 線（現中頓別市街付近）の開拓

前記檜原民之助が 36 線（現中頓別市街）に入植してから開拓が始まり、その後次々と入植するものが続き明治 41 年には道徳安二が 500 町歩の払下げをうけて開拓団 7 戸 36 人を率いて入植した。これが道徳農場である。また、現藤井の始祖藤井清助もこの年に入植、中頓別地方の部長をした桑原政吉も同様に、この年に入植しているので、明治 40 年から 43 年までの間は中頓別開拓の先駆時代といえよう。

明治 40 年に入植した桑原弥市はアイヌの道案内により天塩ポンピラ（現中川町）から敏音知に山越し、頓別川をイカダで下り 36 線にたどりついている。

当時の開墾は原始林の中でヒグマと闘いながら伐倒し、それに火をつけ熊笹・曲竹に火を放ちつつ切開くものであったが、これが遅々として進まず、春先には必ず山火に見舞われて逃げまどうこともしばしばであった。樹木にはカバ、タモ、セン、エゾ松、トド松の類で樹齢 250 年～ 300 年におよぶ大木も多く、直径 1 メートル以上のものが無数に立ちふさがり畜力もない人力だけの当

時としては大変な作業であった。

このほか特に不便だったのは行政の連絡と郵便機関であった。枝幸村役場へ 14 里往復に 10 日もかかり、雨天の場合、河川の氾濫と併せてさらに日数を重ねた。郵便は、私設配達夫が枝幸海岸目梨泊局まで往復し 3～4 日に一度の配達であった。現藤井部落入口に居住した藤井清助兄弟が臨時郵便集配人としてこれにあたった。藤井の地名はここからついたものである。

教育について、斜内教育所所属の第 2 特別教授場が明治 42 年に 36 線（現中頓別）へ設置され、児童数 17 名で桜井周五郎が教鞭を執ったのが本町教育の始まりである。宗教について、43 年 6 月に内田滋敬が東本願寺大谷派説教所を 36 線に開設した。こういった開拓者入植に伴い、将来を見越して小さい商店を張るものもでてきた。この頃、枝幸村においては鉄道開通の議が起こり、時の鉄道総裁後藤新平に請願、その年の 11 月に調査隊が入り現在の音威子府から歌登・枝幸を経て稚内に向かうか、音威子府から中頓別経由かを比較測量、その結果中頓別通過と決まった。

開拓者の家の構造は全て掘立小屋、草ぶきでできた説教所だけがささやかな木造土台つきであった。当時の戸数は 32 戸、人口 88 人（明治 43 年）で、氏名はつぎのとおりである。

（入地年）	（氏 名）	（生業）
明治 34 年	檜原民之助	砂金堀兼農業
〃 40 年	桑原 弥市	入植して引返し、更に入植
〃 41 年	桑原 政吉	農 業
〃 〃	大沢政次郎	商業兼農業
〃 〃	鷹栖徳次郎	農 業
〃 〃	石神 甚吉	〃
〃 〃	龍山 善龍	砂金堀兼農業
〃 〃	道徳 安二	農 業
〃 〃	高橋 平蔵	〃
〃 〃	高橋 平治	〃
〃 〃	石黒庄太郎	〃
〃 〃	佐藤 弥作	〃
〃 〃	奥山 円蔵	〃
〃 〃	藤井 清助	〃
〃 42 年	石川伊三郎	〃
〃 〃	藤原藤五郎	〃
〃 〃	石川好太郎	〃

(入地年)	(氏 名)	(生業)
明治 42 年	桜井周五郎	教 員
〃 〃	十亀伊左衛門	農 業
〃 〃	菅原梅五郎	〃
〃 〃	杉野 類太	〃
〃 〃	高取菊太郎	〃
〃 〃	高野 寅一	〃
〃 〃	近藤勝之助	〃
〃 〃	中山 友太郎	〃
〃 43 年	三村 石造	〃
〃 〃	前田 乗二	〃
〃 〃	伊藤 仁助	〃
〃 〃	内田 滋敬	僧 侶
〃 〃	今野 熊治	農 業
〃 〃	郷田藤次郎	〃
〃 〃	一野 菊蔵	〃

明治 44 年になり、浜頓別から頓別原野 14 線（現下頓別の下）まで開墾道路が進捗し、その後急激に人口が増加した。

農作物は麦類、豆類、馬鈴薯、キビ類がよくできたが、44 年には大洪水に見舞われ収穫前のなたねをはじめ農作物は全滅し、被害者は「ふき」と「川魚」で命をつないだという。

こうして開拓者は苦難に耐えつつ年を追って開墾の実をあげ、大正 5 年頃までには中頓別を中心とする沢々にまで鉄が入れられた。

(1) 藤井

藤井は、藤井清助の始祖に始まり、大正初期の八木農場 50 町歩、浅井農場 20 町歩の小作者菅原条治、藤井清助、森川、山本、佐藤与吉、佐藤健二郎などによって開拓され、その後、昭和 9 年に千葉県と秋田県の移民 22 戸が大挙して入植した。

(2) 旭台、豊泉

ピラカナイ、ペイチャンは道徳農場 500 町歩（後の久保農場）に山田徳次郎を管理人として 23 戸が開墾にあたった。

(3) 上駒

上駒は、頓別川の上り下りの渡舟場口の関係で中頓別市街と同時に開かれ、知駒内の沢には大正 3 年福島団体 8 戸が入植（柳沢福松、武田玉次郎、和泉誠、只野勝美、半谷栄七、天野大次郎、志賀隆治、末永有明）によって開墾された。

(4) 兵安、神崎

ペイチャン、モペイチャンは藤井に連なる土地を持った八木農場 120 町歩の開拓者 6 戸（門野、遠藤、岡本、朝日、松尾など）によってその下流の部分が開かれ、同時に上流の部分は福島県団体（石神宅から上道宅）及び岩手県団体（上道宅より奥）の高橋、佐藤、太田などによって開拓、また根本農場の開拓、（森川、田村、若森、沓沢、遠藤、高橋など）も行われた。神崎は、昭和 7～8 年秋田県、奈良県移民 15 戸（津川、伊藤、遠藤、栗林、沓沢、渡辺、茶園、中島、斉藤、高橋、土岐、三上、小山内、北原、高山）の主力と村内入植者によって開かれた。

(5) 寿

寿は頓別川本流に沿い中頓別市街とともに開かれたもので、道路の設定も他の地方より早く、したがって開拓も最も古く、個人入植で明治 41 年佐藤弥作、明治 43 年一野菊蔵、明治 44 年斉藤有賢が最も古く、続いて上原、高橋、藤井、小野などが入植している。

中頓別市街を中心とした近隣部落の開発状況は上記のとおりであるが、特に中頓別 36 線地方は急速に発展し、大正 2 年 9 月道道が中頓別に開通、さらに大正 5 年には鉄道宗谷線が開通するに及び、それまで開墾のため焼却していた巨大な樹木も中村卯太郎造林部・柳沢造材部・村山金作造材部などの有力事業所によって伐開され、製材事業も盛んになり、相次いで沼田、伊藤、新宮、平田、三井などの木工場が操業した。

また、豊泉には製麻工場も設置され、このように急速に発達した中頓別は以後多少の消長はあったが地方交通、経済、行政、文化の上からも本町の中心であり、南宗谷の中心都市として今日に及んだ。

敏音知、松音知地方の開拓

明治41年、村上専太郎が天塩から枝幸へ向かう途中、マツネシリが農耕適地であることを認めて鹿児島県人鮫島慶彦ほか2名と薩摩農場の基を開いている。この薩摩農場は現在の松音知全域と敏音知の一部、上駒藤井にまたがる広大な農場で、その面積500町歩にもおよび、初期の開拓者として田農、藤田、小島、佐々木、畠山、十倉、上平、九良、川辺、高橋などによって開発されたものである。彼らはいずれも鉄道開通前後の大正初期の入植者で、それ以前には郡之治なる者以外に農業に従事したものはいない。

明治40年頃松音知にも相当数の採取者が入った。この地方の始祖ともいべき松山丈之助は二つの鉱区を持ち多数の採取人を入れプラチナの採掘も行い多量の産金をみたらしい。大正4年、密採者の取締まりのために請願し、巡査部長1名、巡査2名が配置された。

前記の薩摩農場管理人である松山丈之助は、明治43年に枝幸村村議会議員として当地方代表を担い、村政に参画している。この農場はその後大正7年に小樽市の藤山要一に売却して藤山農場として継続され、昭和22年の農地解放まで続いた。農場支配人西岡久平と、さらに管理人として常本勇松が松音知に駐在した。

薩摩農場時代の開発は、一方に農地開拓、他方には森林の伐採によって迅速に進められ、付近に続く伊藤亀太郎所有の山林、及び三井木材などの優秀な山林と共に造材事業が行われた。薩摩農場関係では村山造材部（枝幸町）によって伐採が行われ年間30万石以上の造材事業が10年以上も続き敏音知、松音知は当時異常な発展を遂げたのであった。

敏音知の奥地ワッカウエン（現豊平）は宮城県団体、熊本県団体で開かれ、宮城団体は大正4年姉歯、板摺、山口、田中、畑本、千葉など7戸が入植した。熊本団体は大正3年熊本県移民家入平次郎ほか8名が開拓に従事したものである。この熊本団体より奥地ペンケ及びパンケの山越え約12キロの山裏側にポンピラ（現中川町）の市街があるワッカウエンは本町発祥の頃、天塩地方との通路として意外に早く開かれた。

鉄道は中川町より先に敏音知、中頓別を通じる宗谷線（旧天北線）が開通したのでポンピラ方面への物資の中継地として敏音知及びその道路は重要な役割を果たし、大正11年ポンピラを通ずる現宗谷線が開通するまでこの状態が続き、敏音知市街が形成されていった。

上頓別、小頓別の開拓

（１）上頓別地方

明治45年6月、橋本正義、宗像惣重、鈴木金五郎、山口勝治の4名が福島県田村郡から入植したのを始まりとし、大正2～3年にかけて福島県三春の移民52戸が一斉に入植、さらに鉄道開通と同時に古谷農場（古谷彦市）が開設され小作16戸が入植し炭焼きに従事、また平野農場（平野右左エ門、管理人船越宗太郎）には28戸の小作人が入った。

昭和9年には新上頓別原野に福島、秋田県移民6戸が入植した。これらの移民小作人の多くはその後木材の伐採終了と共に炭焼き状態も底をつき、もとの郷里に帰り、または小作地を放棄、他に転じたものも多数でた。この地方の造材は美深の宇野左エ門によって行われ盛況を極めた。

（２）岩手地方

明治45年1月、岩手県から藤倉ほか16名が集団移民として特定地の貸付をうけて入植したのが始まりでその地名となる。大正2、3年には吉田ほか8名が咲来から音威子府に至り天北国境を山越えし、小頓別から岩手に入植している。

（３）秋田、小頓別地方

明治45年9月、秋田県由利郡から集団移民55戸（団長斉藤利吉）が入植し、秋田の名がついた。昭和9年混合移民6戸がこの奥地に入り、同年栄地区にも11戸が入植したがこれは木材の伐採終了とともにほとんど転出、現在は無人になっている。

小頓別は大正3年11月、鉄道開通で幌別6線（現歌登）の玄関口的要衝をなして急激な戸数の増加をみた。岩手・秋田両地区の中間に駅舎を建設、頓別6線との物資の集散、木材の伐採搬送等で商店、旅館、飲料店が軒を連ね、本町第二の市街を形成した。

む す び

中頓別市街地形態が行われ、明治42年10月、枝幸村の一行政部長が発布。大正10年頓別より分村し中頓別村

として二級町村制を実施する。当時、中頓別市街地は宗谷線随一の盛況を呈し、警察署・営林区署などの行政官庁の設置も相次ぎ商店・工場・金融などの設置も整い全村戸数 1,600 戸人口 1 万人以上を数えた。その後開拓地立木の伐採量減少、全国的不況により転出者が続出し、村勢の衰退をみる。昭和 6～7 年にはその極限に達し戸数 950 戸、人口 5,200 人にまで激減したが、これは植民地においてたどるべき一過程とみられ、農業に転向するものも多く、着実に度を加え、純農村の形成をもたらした。以来、農林業をもって町の基本政策としてきたが幾多の冷害・水害・不況に繰り返し遭遇しつつ成長をとげ、戦時中は戦争経済下の農村の使命をはたし、昭和 24 年 11 月町制を施行した。

本町の立地条件からみて、昭和 31 年頃から従来の馬鈴薯単作から酪農に転換、これを本格的に進め、純酪農地帯として整備が進んだ。近年は農産物自由化など乳価の下落と後継者不足などにより、農業を取り巻く環境は厳しく、相次ぐ離農に頭を抱えている。

過疎化と産業構造の変革は、地方にも大きな打撃を与え、町の前途に暗い影を落としている。特に基幹産業である林業は、構造的不振が続き、昭和 57 年から 61 年にかけて町内の主要木材企業 3 社が倒産、深刻な雇用不安を起こした。また、唯一の本州企業である森永乳業株式会社の生産部門が閉鎖され、地域の経済に大きな打撃を与えた。

平成の時代に入ってもなお、林業を取り巻く情勢は好転せず、製材・割り箸・パルプなどの工場が縮小あるいは廃業に追い込まれていき、国有林野事業の縮小も地域に与える影響は多大であった。森林保全の観点から造林事業は継続して行われているが、後継者不足は農業と同様に深刻な問題となっている。

大正 5 年の開通以来、住民の足として交通の要となってきた天北線は、平成元年 4 月廃止、5 月から代替バスが運行している。

一時は、7 千人を超えた人口も行政官庁の合理化、若者の都市流出と高齢化の進捗などにより、平成 28 年 1 月では 1,800 人を割り、管内の 11 市町村のうち最下位の規模となっている。

厳しい風土、経済環境の中にあっても、当町は「福祉と教育の町」を標榜し、老人ホーム長寿園、知的障害者福祉施設天北厚生園などを有し社会福祉の充実を図っている。また、ふれあいスポーツ広場や青少年柔剣道場を備え、若い町民の教育文化の向上にも力を注いでいる。

過疎に歯止めをかけるため、本州の縫製企業を誘致し、定住人口の施策として旭台に定住促進団地を整備し、単身者住宅の建設も進めた。

交流人口増加の施策としては、敏音知を都市住民と地域住民との交流の拠点として観光開発を進めてきた。

平成 10 年にはデイサービスセンター、在宅介護支援センターの開設、平成 11 年には、一般廃棄物埋立処理施設、下水道の供用開始など、高齢社会に対応した快適な生活環境の向上を図り、地域の活性化を目指して努力している。

これからは、人口減少社会に立ち向かい、未来をあきらめず、豊かで元気なふるさとづくりを進めていく決意である。地域の活性化のため、町民の英知を結集し将来に向かって町勢の飛躍を祈念するものである。

(文中 敬称略)

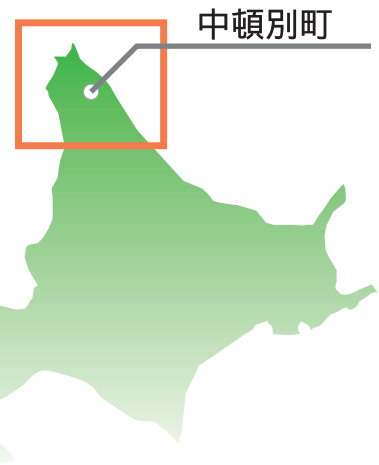
2. 町のあゆみ

年 月	おもな出来事
－ 明 治 －	
24. 9	枝幸に枝幸外 3 村戸長役場を置き枝幸、頓別、歌登、礼文の 4 ヶ村を管轄する。
31	頓別川の支流ペイチャン川におびたしい砂金の産出あり、一時は東洋の「クロンダイク」とまで天下に宣伝されウソタンナイ川を合わせてこの年の 8 月頃には、採取人口 16,000 人を数えた。
35. 5	檜原民之助氏頓別原野（現中頓別市街）に定住し、はじめて農耕に従事する。これが本町の農耕の始まり。
42. 9	大沢政次郎氏頓別原野 36 線（現中頓別）に商業を経営する。
42. 10	9 月 28 日部長設置規則許可、10 月 6 日枝幸村告示第 17 号をもって発布され、道徳安二氏枝幸村第 10 部（本町区域）の部長となる。この日を本町の開基の日とした。
42. 12	頓別原野 36 線（現中頓別）に斜内教育所第 2 特別教授場を創立する。本町寺子屋教育の始まり。
－ 大 正 －	
2. 9	地方費道、頓別から中頓別地方に開通する。
3. 11	宗谷線鉄道（旧天北線）小頓別まで開通する。5. 10 宗谷線中頓別まで開通する。
6. 2	中頓別郵便局設置。
6. 4	中頓別小学校、小頓別小学校開校。
7. 4	中頓別市街本通料理店、富野倉吉方から火災発生 62 戸 51 棟焼失。
〃	敏音知小学校、上頓別小学校開校。
8. 5	松音知小学校開校。
10. 4	頓別村から分村、北海道二級町村制を施行、役場開庁式を挙行。森井清氏初代村長に就任。
10. 11	中頓別警察分署開庁する。宗谷警察署の分署となる。
13. 9	旭川営林署中頓別分署設置される。
－ 昭 和 －	
4. 6	山火あいつぎ、兵知安亜麻会社等危機に瀕し平賀内久保農場に延焼、一大山火となる。浜頓別でも大火発生。
8. 10	中頓別村紋章制定する。
9. 2	村歌制定。加勢太郎氏作詞、工藤富次郎氏作曲。
11. 6	6 月 19 日中頓別村は皆既日食の観測適地として、内外多数の観測隊来村し成功に終わる。
13. 12	中頓別鍾乳洞天然記念物の指定受ける。
22. 4	公選第 1 回の村長選挙。浅水辰蔵氏当選第 7 代首長に。
〃	中頓別中学校、小頓別中学校開校。
22. 5	中頓別簡易裁判所、中頓別区検察庁設置。
23. 2	中頓別村農業協同組合創立される。
24. 11	町制施行（北海道告示第 819 号）11 月 1 日。
25. 4	道立稚内高校中頓別分校設置。
25. 6	小頓別市街大火、罹災戸数 25 戸。
26. 1	旭川家庭裁判所中頓別出張所設置。
26. 4	町立中頓別高等学校独立発足。
28. 5	町広報第 1 号発刊。
31. 1	森永乳業中頓別工場の前身町営製酪事業開始。これにより本格的酪農経営に農業の方向を転換。
32. 6	中頓別市街地に水道施設実施。
34. 8	小頓別に簡易水道実施。中頓別小学校全焼。
41. 8	内田滋敬氏に名誉町民の称号を贈る。
42. 12	町国保病院改築なる。寿トンネル工事竣工。

45. 5	過疎地域緊急措置法による過疎地域の指定を受ける。
〃	町民憲章制定する。
46. 12	中頓別高校新築落成。
47. 9	高橋久太郎氏に名誉町民の称号を贈る。
47. 10	学校給食センター竣工落成。
47. 11	小頓別特別母と子の家落成。
〃	中頓別保育所新築落成。
48. 7	精神薄弱者福祉施設「天北厚生園」開園。
50. 2	養護老人ホーム「長寿園」開園。
50. 4	中頓別高校全日制に転換。
〃	中頓別幼稚園開園。
50. 11	町立自動車学校開設。
51. 2	特別養護老人ホーム、長寿園に併設開園。
52. 6	5 ヶ所の火葬場を統合した中頓別葬斎場使用開始。
53. 1	中頓別高校道立移管。
53. 9	町民センター落成オープン。
55. 11	寿公園にレストハウス完成。
55. 12	寿スキー場オープン。
56. 4	地籍調査開始。
56. 11	寿公園に野外ステージ、テニスコート完成。
56. 12	中頓別簡易水道改良工事落成。
57. 6	野球場完成。
57. 11	町立歯科診療所開設。
57. 12	町立国保病院新築落成。
58. 3	藤井小学校廃校。
59. 9	屋根付き水泳プール完成。
59. 12	青少年会館柔剣道場及び図書室完成。
60. 1	町の木にアカエゾマツ、花にチシマザクラを指定。
60. 12	郷土資料館、青少年会館柔剣道場に併設完成。
62. 10	道々豊富・中頓別線（上駒～問寒別間）完工。
63. 2	保健センター落成。
63. 3	森永乳業中頓別工場閉鎖。
63. 4	藤田徹城氏に名誉町民の称号を贈る。
63. 6	ペーチャン川砂金採掘体験場オープン。
〃	乳牛の受精卵移植推進協議会が発足。
－ 平 成 －	
1. 3	上頓別小学校廃校。
1. 4	ピンネシリ温泉オープン。天北線廃止。
1. 5	代替バス運行開始。
1. 7	中頓別小学校改築工事開始。檜原民之助氏の顕彰碑建立。
1. 8	開基 80 年町制施行 40 周年記念式典を挙行。
〃	「生きいきスポーツ推進の町」宣言。
1. 10	受精卵移植牛第 1 号誕生。
2. 3	中頓別小学校新校舎落成。
2. 4	受精卵移植で初の和牛誕生。
2. 10	小寺縫製（後にテンブル株式会社と改称）と企業誘致調印。
〃	広島県東野町と姉妹縁組調印。
2. 12	中頓別バスターミナル落成オープン。
3. 3	誘致企業「テンブル株式会社・中頓」操業開始。
3. 4	天北峠道路決壊事故により全面通行禁止（～5 月 15 日）
4. 4	ピンネシリ温泉宿泊施設オープン。
5. 2	町内初 3 階建の独身者住宅「メモリアルハイツ」完成。
5. 4	町の行政機関が完全週休二日制へ。
5. 7	ピンネシリオートキャンプ場オープン。
6. 6	旭台定住促進団地、第 1 次分募集開始。
6. 12	サハリン州ノビコボ村より訪問団来町。
7. 1	敏音知小学校新校舎落成。
7. 4	長期滞在施設コテージオープン。

8. 10	敏音知道の駅（交流プラザ）開業。	24. 12	暴風雪、大雪による農業関係施設被害発生（4 件）
9. 6	中頓別町史発刊。	25. 3	5 月 16 日に交通事故死ゼロ 3500 日達成「町民交通安全大会」を町民センターで開催、約 150 人が出席した。
9. 8	大雨で 3 億 2 千万円の被害。	25. 10	天皇皇后両陛下主催の秋の園遊会が東京元赤坂の赤坂御苑で開催、野邑智雄町長夫妻が招待され出席した。
9. 11	田邑憲静氏に名誉町民の称号を贈る。	25. 10	中頓別、旭台、上駒無線共聴施設整備を実施。
10. 4	デイサービスセンター、在宅介護支援センター落成。		国の施策により平成 23 年 7 月 24 日アナログ放送がデジタル化となる。
10. 7	まちづくり活動の拠点、夢中人倶楽部ハウス完成。	26. 5	松音知の国道で、死亡事故が発生し、死亡事故ゼロ 3874 日で途切れる。（H15. 10. 4 ～ H26. 5. 12）
11. 3	松音知小学校廃校。	26. 8	5 日正午までの 24 時間降水量が 125. 5 ミリ（気象台アメダス）を記録。
11. 4	一般廃棄物埋立処理施設、特定環境保全公共下水道処理施設落成。	26. 9	浜頓別町、豊富町、中頓別町の 3 町による戸籍電算化共同事業により、本町で 1109 原戸籍を電算化改製。
11. 9	開拓 90 年町制施行 50 周年記念式典を挙行政。		事故簿 1 戸籍。電算化戸籍の証明発行を開始。
11. 11	中頓別小学校創立 90 周年記念式典を挙行政。	26. 10	一般廃棄物埋立処理施設用地内に「中頓別有害鳥獣等処理施設」完成。鉄骨造平屋建て 165. 21 m ² 。建設費 2 千 3 百万円。
11. 12	宗谷中部地区農業改良普及センター落成。	27. 4	第 14 代中頓別町長・野邑智雄氏任期満了により退任。（4 期 16 年）
12. 9	中頓別農業高等学校創立 50 周年記念式典を挙行政。	27. 5	第 15 代中頓別町長・小林生吉氏就任。
12. 12	介護福祉センター落成。	28. 5	消防組合中頓別支署発足 100 周年記念式典を挙行政。
13. 10	敏音知コミュニティセンター落成式。	30. 7	誘致企業「KUWAHARA」操業開始。
14. 2	こども館落成。	30. 9	中国地方集中豪雨を受け広島県大崎上島町へ 100 万円寄付。
14. 12	南宗谷消防組合中頓別支署新庁舎落成。	30. 10	なかとんべつ観光まちづくりビューロー設立。
15. 5	農業体験施設「体験農園オガル」完成。	31. 3	法人による搾乳経営が行われる施設であるドリームジャンボファームが竣工。
15. 10	死亡事故発生により交通事故死ゼロ 2830 日でストップ。（H8. 1. 4 ～ H15. 10. 3）	－ 令和 －	
15. 11	「南宗谷地域任意合併協議会」設立。	1. 6	開拓の始祖檜原民之助氏の墓石移設完成記念式典が大崎上島町で開催
16. 2	「南宗谷地域任意合併協議会」解散が決定。	1. 11	開拓 110 年町制施行 70 周年記念式典を挙行政。
16. 2	中頓別づくりセンター（役場庁舎）新築落成。	1. 12	寿スキー場ロッジが改修工事終了
16. 3	中頓別町と浜頓別町の「天北二町合併協議会」が設立。	〃	交通事故死ゼロ 500 日達成
16. 4	「天北二町合併協議会」に猿払村が加入し、「天北三町村合併協議会」へ移行。	2. 9	防災行政無線の本格運用開始
16. 10	旧役場庁舎が解体。	2. 10	中頓別農協と東宗谷農協との合併契約調印式開催
16. 11	「天北三町村合併協議会」から猿払村が脱退し、解散。	2. 11	瀬尾診療所開院
17. 8	道教委が公立学校適正配置計画を発表し、中頓別農業高等学校が平成 20 年 3 月をもって廃校。	3. 3	立命館慶祥高等学校と地方創生人材育成制度に関する協定書の調印式開催
18. 3	敏音知小学校が廃校。	3. 4	旧米田商店跡地に地域生活支援拠点施設を整備
18. 8	利用者減少、設備老朽により公衆浴場「黄金湯」営業終了。	3. 10	醸造用ブドウの収穫・見学会の開催
19. 2	小頓別製箸工場完成。	3. 11	中頓別町特定地域づくり事業協同組合の設立総会開催
19. 3	町立天北厚生園が社会福祉法人南宗谷福祉会に移管。	〃	大規模災害時における相互協力に関する基本協定締結
19. 4	中頓別保育所・幼児クラブが北海道より「中頓別町認定こども園」に認定。	4. 4	第 8 期中頓別町総合計画実施。（2022 年～ 2031 年まで）
20. 3	中頓別農業高等学校が廃校。	4. 9	交通事故死ゼロ 1, 500 日達成
20. 4	旧敏音知小学校跡を「そうや自然学校」として開設。	4. 11	「君の椅子」プロジェクトに関する署名及び贈呈式開催
21. 3	小頓別小中学校が廃校し、93 年の歴史に幕。	5. 4	デイサービスセンター及び訪問介護事業所町へ移管
21. 7	NHK 及びかんぽ生命による夏期巡回ラジオ体操会中頓別大会に 500 人が参加し全国に中継。	〃	小林生吉町長が 3 期目の当選
21. 9	平成 20 年度決算で実質公債費比率が早期健全化団体基準超が確定。		
21. 10	開拓 100 年町制施行 60 周年記念式典を挙行政。		
〃	中頓別小学校創立 100 周年記念式典を挙行政。		
21. 11	テレビ民放 4 社の地上デジタル放送開始。		
23. 9	藤山に良質な粗飼料生産のための TMR センター落成。町内農家 10 戸で経営。		
23. 10	札幌から移住してきた渡辺由起子氏が公衆浴場「黄金湯」を再開。営業開始。		
24. 1	兵安から上駒に施設を移転し平成 24 年 2 月 1 日に障害者支援施設天北厚生園として開始した。		
24. 3	新規就農者第 1 号村田克明氏（神奈川県出身）に奨励金及び補助金を交付。		
24. 4	第 7 期中頓別町総合計画実施。（2012 年～ 2021 年まで）		

3. 地勢と自然



位置

中頓別町は、北海道の最北に位置する宗谷総合振興局管内に属し、管内の東南部、北緯 45 度線上に位置しています。東は枝幸町、北は浜頓別町、西および西南方には、幌延町と上川総合振興局管内の音威子府村に接しています。

地勢

中頓別町は山々に囲まれた山岳部にあり、中央部には敏音知岳・松音知岳がそびえ、西部は天塩山脈に連なる山々、東部はホロヌプリ岳に連なる北見山地の裾野に位置しています。これらの山々に水源を発する多くの支流を合わせて頓別川とペーチャン川を形成。町の中央部を北流し、市街地南部で合流した後、頓別川としてオホーツク海にそそいでいます。

この流域が平坦地および段丘地帯となり、酪農を主とする農業地帯および集落・市街地を形成しています。

■土地利用

令和5年6月1日固定資産税概要調査

総面積	畑	宅地	山林	牧場	原野	雑種地	その他
39,851ha	3,443	77	31,257	1,135	1,544	1,144	1,251

位置と面積

(中頓別町役場)

東経 142° 17' 12"
北緯 44° 58' 11"
面積 398.51 km²

■月別平均気温(°C)

気象庁アメダスの数値

年次	月別	月別平均気温 (°C)												降水量(mm)	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年平均	年間総数
令和 1 年		-7.9	-7.9	-2.0	4.4	13.3	14.2	18.9	18.5	15.6	9.3	0.3	-4.7	6.0	923
2 年		-7.8	-8.0	-0.7	3.1	10.6	14.6	18.3	19.6	17.4	8.8	2.6	-6.2	6.0	1,438
3 年		-10.0	-6.2	-0.2	4.7	9.8	15.3	21.8	19.1	14.7	8.4	3.5	-4.4	6.4	1,401
4 年		-9.0	-7.6	-0.7	5.7	11.5	13.3	19.6	20.2	16.4	8.8	3.0	-5.0	6.4	1,287
平均		-8.7	-7.4	-0.9	4.5	11.3	14.4	19.7	19.4	16.0	8.8	2.4	-5.1	6.2	1,262

4. 人口

■人口動態と世帯および人口の推移

10月1日付住民基本台帳

年次	区 分	人口と世帯				自然動態						社会動態						計	
		総人口	男	女	世帯	出生		死亡		増減		転入		転出		増減		増減計	
						男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
令和	1	1,681	842	839	927	4	3	15	15	▲ 11	▲ 12	47	31	52	51	▲ 5	▲ 20	▲ 16	▲ 32
	2	1,663	829	834	914	2	3	9	9	▲ 7	▲ 6	36	30	39	27	▲ 3	3	▲ 10	▲ 3
	3	1,729	910	819	910	4	6	18	10	▲ 14	▲ 4	53	33	51	38	2	▲ 5	▲ 12	▲ 9
	4	1,584	788	796	905	3	4	16	14	▲ 13	▲ 10	35	25	49	47	▲ 14	▲ 22	▲ 27	▲ 32
	5	1,536	770	766	852	5	4	17	11	▲ 12	▲ 7	43	27	53	53	▲ 10	▲ 26	▲ 22	▲ 33

■地区別人口及び世帯数の推移

10月1日付住民基本台帳

地区名	令和2年		令和3年		令和4年		令和5年	
区 分	人 口	世帯数	人 口	世帯数	人 口	世帯数	人 口	世帯数
弥 生	18	7	16	8	15	8	15	8
寿	18	10	17	9	18	11	18	11
旭 台	194	95	189	94	175	91	162	88
中頓別	1,129	631	1,132	630	1,099	627	1,061	617
上 駒	113	42	107	42	99	38	96	38
豊 泉	18	6	17	6	18	7	17	8
兵 安	13	4	13	4	12	5	13	5
神 崎	2	1	2	2	2	2	2	2
藤 井	15	8	15	8	13	8	13	8
松音知	38	14	36	14	37	15	39	15
敏音知	30	16	30	17	28	16	26	15
豊 平	13	4	13	4	12	4	12	4
上頓別	23	11	18	9	18	9	18	9
小頓別	27	21	27	21	26	20	30	20
秋 田	10	3	10	3	10	3	11	3
岩 手	2	1	2	1	2	1	3	1
栄	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	1,663	874	1,644	872	1,584	865	1,536	852

■年齢階級別人口の推移

国勢調査

区分 階級別	平成12年			平成17年			平成22年			平成27年			令和2年		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
0歳～4歳	39	49	88	45	38	83	34	24	58	22	23	45	26	29	55
5～9	45	50	95	42	52	94	38	35	73	27	21	48	25	29	54
10～14	57	61	118	43	41	84	34	42	76	33	32	65	29	22	51
15～19	95	56	151	44	41	85	21	26	47	18	20	38	21	16	37
20～24	54	48	102	31	27	58	24	14	38	27	12	39	21	13	34
25～29	76	57	133	65	55	120	24	27	51	39	20	59	37	22	59
30～34	60	62	122	77	54	131	65	55	120	35	30	65	38	27	65
35～39	53	59	112	59	69	128	65	51	116	63	46	109	41	33	74
40～44	81	73	154	54	51	105	51	51	102	62	53	115	63	54	117
45～49	85	99	184	75	73	148	51	44	95	54	54	108	76	53	129
50～54	109	117	226	80	103	183	67	70	137	56	48	104	53	50	103
55～59	104	103	207	101	113	214	79	92	171	68	68	136	54	39	93
60～64	105	89	194	95	94	189	84	96	180	68	77	145	55	56	111
65～69	89	67	156	89	80	169	82	82	164	73	91	164	66	69	135
70～74	64	85	149	79	69	148	78	69	147	70	73	143	57	84	141
75～79	69	98	167	59	79	138	66	59	125	59	60	119	56	67	123
80歳以上	52	108	160	81	131	212	98	176	274	94	157	251	100	156	256
合計	1,237	1,281	2,518	1,119	1,170	2,289	961	1,013	1,974	868	885	1,753	818	819	1,637

■産業分類別就業者の推移

国勢調査

区分 職業別	平成12年		平成17年		平成22年		平成27年		令和2年	
	総数	うち男	総数	うち男	総数	うち男	総数	うち男	総数	うち男
第1次産業	229	134	208	132	167	110	152	101	136	91
農業	186	99	180	105	150	94	131	81	115	73
林業・狩猟業	43	35	26	25	15	14	18	17	19	16
漁業・水産養殖業			2	2	2	2	3	3	2	2
第2次産業	279	183	180	117	115	77	113	79	112	84
鉱業	5	5	3	3	2	2	1	1	1	1
建設業	172	135	102	85	72	62	66	59	61	54
製造業	102	43	75	29	41	13	46	19	50	29
第3次産業	771	417	679	360	604	305	625	330	634	342
電気・ガス・水道業	5	4	5	3	3	2	4	3	5	4
運輸・通信業	38	32	22	16	39	27	27	18	31	27
卸売・小売業	146	65	102	45	98	40	75	35	78	41
金融・保険・不動産業	14	4	7	4	13	7	9	6	5	3
サービス業	470	236	461	226	365	167	389	189	157	98
教育・学習支援事業									56	32
医療・福祉									210	70
公務	98	76	82	66	81	59	78	61	89	65
分類不能					5	3	43	18	3	2
合計	1,279	734	1,067	609	886	492	890	510	882	517

5. 教育・文化

■町内学校の概要

5月1日現在

	学級数 (※)	教員数	園児・児童・生徒数		
			男	女	計
中頓別町認定こども園	6	10	14	18	32
中頓別小学校	8	13	26	31	57
中頓別中学校	6	13	15	14	29
合 計	20	36	55	63	118

※ 学級数には、特別支援学級も含まれています。

■児童・生徒数の推移

	令和 2	令和 3	令和 4	令和 5
中頓別小学校	59	67	68	57
中頓別中学校	32	28	24	29
合 計	91	95	92	86

■中学校卒業後の進路状況

	令和 2	令和 3	令和 4	令和 5
卒業生数	10	12	9	10
全日制	10	12	9	10
定時制				

■スポーツ少年団

5月1日現在

団体名	構成人員
スキー少年団	30
剣道少年団	6
卓球少年団	20
フットサル少年団	10
ミニバスケットボール少年団	14
柔道少年団	0

■文化団体

5月1日現在

名称	会員数	内容
やまなみ吟社	6	俳句
日本詩吟学院岳風会	5	詩吟
日本習字中頓別支所	1	書道
茶道サークル	9	茶道
陶芸サークル	6	陶芸
絵手紙サークル	6	美術
しあわせカラオケ会	10	音楽
寿カラオケサークル	7	音楽
彩北絵画クラブ	3	美術
中頓別吹奏楽団	9	音楽
中頓別囲碁クラブ	6	囲碁
和太鼓－雪峯－	9	音楽
囲碁愛好会	9	囲碁
図書室ボランティアサークル 「このゆびと～まれ♪」	6	絵本読み聞かせ
スピン会	8	手芸
ひよっこクラブ	17	幼児交流

■体育団体

5月1日現在

加入団体名	構成人員
バレー協会	17
バスケットボール協会	24
野球連盟	20
柔道協会	6
剣道連盟	7
スキー協会	25
サッカー協会	15
パークゴルフ協会	37
走友会	12
ゲートボール協会	9
卓球協会	15
卓球愛好会	3
ミニバレーを楽しむ会	24
バドミントン愛好会	－
ミニバレー愛好会	8
育児婦人運動部	－
スポーツしない会？	10

■社会体育施設

5月1日現在

施設名	設立年月日	規 模 ・ 設 備 ・ 面 積
町民体育館	S.41. 7.30	バレーボール、卓球、バドミントンなど
		665㎡
創作活動施設 (旧幼稚園)	S.49.11.30 (H13.11.28更新)	平屋建444㎡
寿テニスコート	S.56.11.30	2面
ふれあいスポーツ広場 (旧野球場)	S.57. 6.18 (H13.11.28更新)	野球、サッカーなど バックネット、管理棟、トイレ、駐車場
寿スキー場	S.58.12. 5 (H30～H31更新)	スキーリフト1基608m、面積1,400a ロッジ198㎡、圧雪車1台
山村水泳プール	S.59. 8.27	屋根ビニールシート張り 896㎡
青少年柔剣道場	S.59.12.15	柔道、剣道 130㎡
寿パークゴルフ場	H.13.5.22	全36ホール

■地域づくりに取り組む団体

5月1日現在

グループの名称	設立年月	主 な 活 動 内 容
中頓別町スピン会	H 1.11	羊毛製品の加工研究・開発
夢や	S63. 6	一村一品(砂金の缶詰づくり)の取り組み
砂金の会	S62. 5	砂金掘体験場の開催
		砂金まつりの開催
しゃかりき組	H 1. 3	スポーツフェスティバルの取り組み
		イベントでの出店など
中頓別町商工会青年部	S44. 2	ふるさと意識の普及や地域経済活性化の取り組み
中頓別町まちづくり協議会	H26. 12	まちづくりの提案や実践
旧丹波屋旅館保存活用プロジェクト	R2.8	学習、観光の場としての地域貢献

■社会教育団体

5月1日現在

区分	名称	会員数	備考
青少年団体	スポーツ少年団	80	単位団体 6
	柔道、剣道、卓球、フットサル、スキー、ミニバス		
	JA東宗谷中頓別支所農協青年部	11	
	中頓別町商工会青年部	8	
	中頓別町4Hクラブ	6	
女性団体	JA東宗谷中頓別支所農協女性部	9	
	JA東宗谷中頓別支所フレッシュミズの会	9	
	中頓別町商工会女性部	25	

6. 産業

■家畜飼養頭羽数と搾乳量

区 分 年 次		乳 用 牛					豚	鶏	馬	めん よう	肉用牛	調査名 基準日
		飼育 頭数	内 訳		生 乳 生産量(t)	牧草地(ha)						
			24箇月 未 満	24箇月 以 上								
平成	11	4,430	χ	χ	21,601	3,156	χ	χ	χ	χ	459	農業基本調査 H11.2.1
	12	4,277	1,164	3,113	20,091	3,123	χ	χ	χ	χ	431	農林業センサス H12.2.1
	17	3,700	χ	χ	19,751	χ	χ	χ	χ	χ	x	〃 H17.2.1
	22	3,571	2,674	897	18,017	2,883	χ	χ	χ	χ	216	〃 H22.2.1
	27	3,215	2,192	1,023	16,672	3,067	χ	150	χ	χ	42	〃 H27.2.1
令和	2	3,186	2,088	1,098	17,602	3,452	χ	χ	χ	χ	118	農林業センサス R2.2.1

※ 搾乳量はJA中頓別町調査による数値

■産業別事業所数・従業者数

経済センサス

区 分 年 度		平成16年		平成18年		平成21年		平成24年		平成26年		平成28年		令和3年	
		事業者数	従業者数	事業者数	従業者数	事業者数	従業者数	事業者数	従業者数	事業者数	従業者数	事業者数	従業者数	事業者数	従業者数
農林水産業		1	20	2	8	3	33	2	30	6	35	3	34	5	49
鉱業															
建設業		16	138	16	115	13	90	12	81	10	68	8	57	7	79
製造業		4	30	4	30	2	7	4	17	4	18	6	20	8	36
電気ガス水道業				1	3	2	5	1	3	2	5	1	4	1	4
運輸通信業				2	4	4	14	4	13	3	11	4	12	4	11
卸売小売業		39	148	39	116	32	105	31	99	29	113	29	99	26	97
金融保険業		1	7	1	6	1	6			1	6	1	8	1	6
不動産業				1	4	1	3							1	3
サービス業		57	257	63	470	59	450	39	312	55	438	53	450	50	379
公務				9	80	9	73	16	60	9	70				
総数		118	600	138	836	126	786	109	615	119	764	105	684	103	664

※ 平成12年から経済センサスに移行

■商業の推移

工業統計調査

区 分 年 度		総 数			うち小売業			一般飲食店		
		商店数	従業者数	商品販売年額(万円)	商店数	従業者数	商品販売年額(万円)	商店数	従業者数	商品販売年額(万円)
平成	14	41	139	216,657	26	85	154,869	15	54	61,788
	16	41	152	247,475	27	85	190,088	14	67	57,387
	19	37	134	144,462	23	82	96,471	14	52	47,991
	24	29	78	79,238	18	χ	χ	11	χ	χ
	26	22	68	164,568	14	36	χ	8	32	χ
	28	39	121	χ	29	99	χ	10	22	χ
令和	3	22	72	310,400	19	61	141,900	6	22	35,600

「χ」は秘密保護のため数字が秘匿されているもの

■観光関連施設

施設名	設備・機能	入込客数	開設年度	連絡先
中頓別鍾乳洞自然ふれあい公園	散策道、管理棟、鍾乳洞	3,030	平成16年	6-1129
砂金掘り体験場	ゴールドパン・カッチャ貸し出し、管理人常駐	351	昭和63年	7-8510
寿公園(4～11月)	パークゴルフ場、テニスコート、ゴルフ場、遊具	5,268	昭和56年	6-1339
道の駅「ピンネシリ」	24時間トイレ、コインランドリー	61,085	平成8年	7-8510
そうや自然学校	宿泊室10名×3室、多目的ホール、自然体験備品設置、スタッフ常駐	708	平成20年	8-3611
寿スキー場(12～3月)	ロッジ、食堂、レンタルスキー、リフト使用	2,760	昭和55年	6-1339

■農業振興関連施設

施設名	設備・機能	開設年度	連絡先
南天北国営草地	育成牛の夏季委託	H10年度	01634-6-1244
食彩工房もうもう	農産・畜産・乳製品加工	H13年度	01634-6-2211
アグリパーク体験農園オガル	農業体験、苗の直売	H15年度	
循環農業支援センター	牛ふん堆肥製造	H16年度	

■製造事業所・従業者・製造業出荷

12月31日付工業統計調査

区 分		事業所数	従業者数	給与総額 (万円)	原材料使用額 (万円)	製造品出荷額等 (万円)
年 度						
平成	30	2	14	×	×	×
令和	1	3	20	5,625	7,902	16,851
	2	3	19	6,840	8,081	17,316

■農家数・農家人口

区 分		農 家 数				農家 人口	農業従事者 (150日以上)	調査名 基準日
年 次		総 数	専 業	一種兼業	二種兼業			
平成	11	76	52	15	9	324	183	農業基本調査 H11.2.1
	12	73	55	11	7	308	176	農林業センサス H12.2.1
	17	68	×	×	×	×	×	〃 H17.2.1
	22	52	41	10	1	135	125	〃 H22.2.1
	27	46	34	10	2	118	114	〃 H27.2.1
令和	2	46	32	1	12	118	89	〃 R2.2.1

■森林面積

農林業センサス

区 分		面積(ha)				
年 度		計	天然林	人工林	無立木地	その他
平成	28	33,474	24,299	8,862	188	126
	29	33,483	24,298	8,852	207	126
	30	33,483	24,298	8,852	207	126
令和	1	33,484	24,352	8,859	146	126
	2	33,500	24,380	8,855	139	126
	3	33,567	24,396	8,849	195	127
	4	33,582	24,415	8,848	192	127

7. 生活環境

■ 社会福祉施設等の設置状況

10月1日現在

分 類	施 設 名	開設年度	備 考
老人福祉施設	養護老人ホーム 長寿園	昭和50年2月	
	特別養護老人ホーム 長寿園	昭和51年2月	
	短期入所生活介護事業所 長寿園	昭和56年4月	
	デイサービスセンター 長寿園	平成10年4月	
	在宅介護支援センター長寿園	平成11年4月	
	老人福祉センター	昭和53年7月	
知的障がい者(児)福祉施設	障害者支援施設 天北厚生園	平成24年9月	新体系移行
	一体型共同生活事業所 すまいる	平成21年4月	第1ふれあいホーム
		平成22年8月	第2ふれあいホーム
		平成24年1月	第3ふれあいホーム
	多機能型事業所DO	平成23年4月	
	グループホーム「まちなか」	令和3年4月	
	多機能型事業所DO出張所(直売所)	令和3年4月	
	相談支援事業所	令和3年4月	
児童母子家庭施設	中頓別町認定こども園	平成19年4月	平成19年4月 道の認定
保健福祉施設	中頓別町介護福祉センター	平成12年12月	
	中頓別町地域包括支援センター		
	中頓別町介護予防支援事業所		
福祉相談窓口	中頓別町社会福祉協議会	昭和54年3月	

■ 宿泊施設

名称	収容人数	構造・面積	附属施設	連絡先 市外局番01634	備考
ホテル望岳荘	30名	平屋建	研修室大浴場集会室売店	7-8650	ピンネシリ温泉併設
ピンネシリオートキャンプ場		2,500㎡	キャンピングカーサイト(5)一般カーサイト(10)	7-8510	同敷地内
			芝生公園テントサイト(26)野外卓・野外炉完備		
ピンネシリコテージ	Aタイプ8名	平屋建2棟	バス・トイレ・冷蔵庫等調理器具・テレビ 電話・テーブル・ベット・寝具・暖房完備		
	Bタイプ12名	2階建2棟			
トレーラーハウス	4名	平屋建2棟			
石川旅館	29名	2階建		6-2355	部屋数8
そうや自然学校	30名	平屋建	多目的ホール・研修室・調理室・体育館	8-3611	会議、合宿利用可能
澤里ファーム(民泊)	2人	2階建	専用シャワー、トイレ、洗面所	6-1444	部屋数2 通年営業
中頓別民泊癒しの里	10人	2階建	共用:シャワー、風呂、キッチン、電子レンジ、 洗濯機(有料)	090-9624-3550	部屋数5 営業期間4～11月

■ 公衆浴場

名称	入浴料金	連絡先	備考
ピンネシリ温泉	大人(中学生以上)400円 子ども170円	01634-7-8650	ホテル望岳荘併設
黄金湯	大人400円 中学生～高校生 200円 小学生以下大人同伴で無料	01634-6-2300	

■ 道路状況

4月1日現在

区分	路線名	延長	道路			舗装	
			改良済	未改良	改良率	延長	舗装率
		km	km	km	%	km	%
国道	275号	34.6	34.6		100.0	34.6	100.0
道道	豊富中頓別線	12.5	12.5		100.0	12.5	100.0
"	美深中頓別線	18.4	18.4		100.0	18.4	100.0
"	兵安上頓別停車場線	8.4	8.4		100.0	8.4	100.0
"	中頓別停車場線	0.3	0.3		100.0	0.3	100.0
"	小頓別停車場線	0.1	0.1		100.0	0.1	100.0
"	枝幸音威子府線	0.7	0.7		100.0	0.7	100.0
町道	208路線	201.1	87.2	113.9	43.4	68.6	34.1
	合計	276.1	162.2	113.9		143.6	

■医療施設等

10月1日現在

	医師数	薬剤師	看護師	準看護師	病床数
中 頓 別 町 国 民 健 康 保 険 病 院	2	1	10	6	20
中 頓 別 町 国 民 健 康 保 険 病 院 介 護 医 療 院			2	1	16
町 立 歯 科 診 療 所	1				

■公営住宅等建設状況

10月1日現在

建設年度	公営住宅	特定公共賃貸住宅	独身住宅	団地名等
平成元年				
平成2年				
平成3年				
平成4年			19	メモリアルハイツ
平成5年		4		敏音知特定公共住宅
〃	4			西団地
平成6年	4			〃
平成7年	6			〃
平成8年	4			〃
平成9年	6			〃
平成10年		8		旭台単身者住宅
平成11年				
平成12年	12			あかね団地
平成13年	12			〃
平成14年				
〃		8		あかね特定公共住宅
〃	4			小頓別団地
平成15年	12			あかね団地
平成16年	6			〃
平成17年	6			〃

※ 平成18年以降新築なし

(数字は戸数を表す)

■水道施設状況

中頓別町簡易水道事業計画

施設名	区分	設置年度	計画給水人口	計画給水量	給水区域
中 頓 別 簡 易 水 道		昭和56年	2,820人	2,213m ³	全 域

■下水道施設状況

中頓別町特定環境保全公共下水道事業計画

施設名	区分	設置年度	計画人口	計画汚水量	計画区域
中頓別町特定環境保全公共下水道		平成5年	1,480人	563m ³	102.0ha

8. 交通・治安・消防

■交通事故発生件数と死傷者数

北海道警察本部調

年 度	区 分	件 数	死 者	傷 者
令和	1	0	0	0
	2	1	0	1
	3	0	0	0
	4	1	0	1

■火災発生件数及び損害額

消防年報

年 次	区 分	火災発生 件 数	損 害 額 (千 円)
令和元年		2	167
令和2年		2	121
令和3年		1	7,237
令和4年		1	9

■救急出場件数及び搬送人員

消防年報

年 次	区 分	出場件数	搬送人員
令和元年		62	62
令和2年		99 (7)	93
令和3年		76	76
令和4年		76 (6)	70

※出場件数欄中()は不搬送件数

■罪種別刑法発生及び検挙数

枝幸警察署調

年度		平成			令和			
		28	29	30	1	2	3	4
総 数	認知件数	1	3	2	1	4	3	2
	検挙件数	0	1	0	1	2	3	1
	検挙人員	0	1	0	1	2	3	1
凶 悪 犯	認知件数	0	0	0	0	0	0	0
	検挙件数	0	0	0	0	0	0	0
	検挙人員	0	0	0	0	0	0	0
粗 暴 犯	認知件数	0	1	0	1	0	1	0
	検挙件数	0	1	0	1	0	1	0
	検挙人員	0	1	0	1	0	1	0
窃 盗 犯	認知件数	0	2	2	0	2	0	0
	検挙件数	0	0	0	0	1	0	0
	検挙人員	0	0	0	0	2	0	0
知 能 犯	認知件数	0	0	0	0	2	0	0
	検挙件数	0	0	0	0	1	0	0
	検挙人員	0	0	0	0	1	0	0
そ の 他	認知件数	1	0	0	0	0	2	2
	検挙件数	0	0	0	0	0	2	1
	検挙人員	0	0	0	0	0	2	1

9. 行政・議会

■歴代首長

歴 順	氏 名	就 任	退 任
1	森井 清	大正10年4月	大正12年2月
2	岡 恵舜	大正12年5月	大正15年7月
3	近藤 定志	大正15年9月	昭和3年5月
4	村賀多良明	昭和3年5月	昭和6年3月
5	島田長太郎	昭和6年4月	昭和7年3月
6	佐藤友太郎	昭和7年3月	昭和21年11月
7	浅水 辰蔵	昭和22年4月	昭和30年4月
8	野邑 清美	昭和30年5月	昭和46年4月
9	朝日 春吉	昭和46年5月	昭和54年4月
10	谷野 文衛	昭和54年5月	昭和62年4月
11	山上 登	昭和62年5月	平成11年4月
12	野邑 智雄	平成11年5月	平成27年4月
13	小林 生吉	平成27年5月	現 在

■歴代議長

歴 順	氏 名	就 任	退 任
1	谷口 雅雄	昭和22年4月	昭和28年7月
2	片山 栄	昭和28年8月	昭和30年4月
3	宮崎 留一	昭和30年5月	昭和34年4月
4	片山 栄	昭和34年5月	昭和38年4月
5	高橋久太郎	昭和38年5月	昭和40年4月
6	谷口 雅二	昭和40年5月	昭和46年4月
7	柳澤 福壽	昭和46年5月	昭和52年4月
8	十倉 實	昭和52年5月	昭和54年4月
9	高橋 久之	昭和54年5月	昭和57年5月
10	片山 昌英	昭和57年5月	昭和60年4月
11	大西 博	昭和60年5月	昭和62年4月
12	星川 希雄	昭和62年5月	平成3年4月
13	大西 博	平成3年5月	平成7年4月
14	星川 希雄	平成7年5月	平成11年4月
15	石神 忠信	平成11年5月	平成23年4月
16	村山 義明	平成23年5月	令和5年4月
17	星川 三喜男	令和5年5月	現在

■行政機構

町長部局

町 長	副町長	総 務 課	総務グループ、住民グループ
		政策経営課	政策経営グループ
		産 業 課	産業グループ、商工労働・観光まちづくりグループ
		建 設 課	建設グループ、上下水道グループ
		保健福祉課	保健グループ、福祉グループ、地域包括支援センター、 介護予防支援事業所、デイサービスセンター、訪問介護事業所
		自動車学校	
		国 保 病 院	総務係、薬局、居宅介護支援事業所

各委員会

教育委員会	教育長	事 務 局	教育グループ、新しい学校づくり推進室
		給食センター	
		認定こども園	認定こども園、子育て支援センター

町議会 — 事務局

農業委員会 — 事務局

選挙管理委員会 — 事務局（総務課）

監査委員 — 事務局（町議会事務局）

一部事務組合

南宗谷消防組合 — 中頓別支署 — 総務グループ、予防グループ、警防グループ

南宗谷衛生施設組合

■町議会議員一覧

令和5年5月現在

議席 番号	氏 名	職 名			性別	職 業	生 年 月 日	党派	当選 回数
1	蓮尾 純一	議 員			男	会社社長	昭和54年4月12日	無所属	1
2	吉田 智一	議 員			男	無職	昭和35年1月21日	無所属	1
3	高橋 憲一	議 員			男	自営業	昭和26年5月2日	日本共産党	2
4	長谷川克弘	議 員	常任委員長		男	会社役員	昭和43年3月31日	無所属	3
5	宮崎 泰宗	議 員	議運委員長		男	会社役員	昭和58年6月16日	無所属	4
6	細谷 久雄	議 員			男	会社役員	昭和33年3月29日	無所属	4
7	西浦 岩雄	副議長			男	獣医師	昭和25年4月16日	無所属	3
8	星川三喜男	議 長			男	NPO法人理事長	昭和38年1月11日	無所属	7

- 議員任期
- 令和5年5月1日～令和9年4月30日
- 議席番号
- 令和5年5月12日中頓別町議会臨時会で指定
- 職 名
- (1)令和5年5月12日、第3回中頓別町議会臨時会で当選(選任)
- (2)議長、副議長、各委員会委員長の任期は、議員の任期満了まで
- (3)議運～議会運営委員会
- (4)常任委員会は全議員で構成

10. 財政

■ 年次別決算状況

(千円)

年 度		令和 2	3	4	
会計別					
一般会計		歳入	4,037,738	4,296,473	4,375,882
		歳出	3,878,488	4,122,227	4,273,402
		差引	159,250	174,246	102,480
病院事業会計	収益の収支	歳入	563,431	578,846	574,297
		歳出	556,151	570,607	566,488
		差引	7,280	8,239	7,809
	資本の収支	歳入	29,656	23,028	23,871
		歳出	36,093	41,111	30,641
		差引	▲ 6,437	▲ 18,083	▲ 6,770
国民健康保険事業特別会計		歳入	207,078	199,646	194,405
		歳出	186,511	176,459	171,030
		差引	20,567	23,187	23,375
介護保険事業特別会計		歳入	215,648	214,884	214,732
		歳出	204,818	207,350	206,537
		差引	10,830	7,534	8,195
後期高齢者医療事業特別会計		歳入	32,584	32,152	33,043
		歳出	32,416	32,025	32,880
		差引	168	127	163
水道事業特別会計		歳入	125,434	105,567	300,392
		歳出	124,879	105,008	299,892
		差引	555	559	500
下水道事業特別会計		歳入	259,590	95,246	264,811
		歳出	259,052	94,629	264,340
		差引	538	617	471
自動車学校事業特別会計		歳入	44,934	53,764	54,764
		歳出	44,834	53,625	54,623
		差引	100	139	141

■ 普通会計決算状況(歳入)

(千円)

会計別		年度	令和 2	3	4
町 税			161,154	166,137	166,024
地 方 譲 与 税			67,156	68,020	70,946
利 子 割 交 付 金			155	116	74
配 当 割 交 付 金			379	606	563
株式等譲渡所得割交付金			466	743	459
地 方 消 費 税 交 付 金			40,352	43,501	43,981
自動車取得税交付金					
自動車税環境性能割交付金			3,963	3,975	5,080
法 人 事 業 税 交 付 金			218	1,369	2,402
地 方 特 例 交 付 金			1,698	2,160	267
地 方 交 付 税			2,090,195	2,316,806	2,323,481
交通安全対策特別交付金			—	—	—
分 担 金 ・ 負 担 金			23,066	23,877	22,221
使 用 料 ・ 手 数 料			98,804	101,643	100,873
国 庫 支 出 金			526,918	439,441	401,722
国 有 提 供 施 設 等 所在市町村助成交付金			300	300	300
道 支 出 金			189,268	235,114	148,072
財 産 収 入			20,749	21,185	20,037
寄 附 金			2,654	2,231	7,214
繰 入 金			130,067	163,083	244,318
繰 越 金			177,610	159,351	174,384
諸 収 入			81,752	92,263	110,315
町 債			414,549	482,715	441,619
総 額			4,031,473	4,324,636	4,284,352

■徴税額の推移

(千円)

会計別 \ 年 度	令和 1	2	3	4
町民税(個人)	77,643	76,536	80,903	75,969
町民税(法人)	7,150	5,735	7,107	6,774
固定資産税	59,627	60,255	58,235	62,182
軽自動車税	4,356	4,441	4,572	4,911
市町村たばこ税	13,875	13,633	14,711	15,499
鉱産税	—	—	—	—
入湯税	724	554	609	689
総 額	163,375	161,154	166,137	166,024

■普通会計の目的別決算額

(千円)

目的別 \ 年 度	令和 2	3	4
議会費	47,392	47,881	48,379
総務費	883,130	865,889	797,148
民生費	616,143	699,419	740,490
衛生費	549,761	592,502	596,005
労働費	35	19	36
農林水産費	367,277	467,357	356,278
商工費	153,740	169,939	144,471
土木費	495,750	484,267	604,618
消防費	149,806	132,103	130,674
教育費	264,060	259,537	271,354
災害復旧費	—	—	—
公債費	345,028	431,339	492,279
総 額	3,872,122	4,150,252	4,181,732

■普通会計の性質別決算額(歳出)

(千円)

会計別 \ 年 度	令和 2	3	4
人件費	659,475	672,849	702,219
うち職員給	417,347	431,563	447,022
物件費	457,862	453,064	535,658
維持補修費	111,498	102,985	170,157
扶助費	241,582	293,481	265,246
補助費等	1,053,787	910,497	891,736
公債費	345,028	431,339	492,279
積立金	134,525	244,011	198,775
投資・出資金・貸付金	20,000	20,000	20,000
繰出金	177,953	176,572	191,853
投資的経費	670,412	845,454	713,809
普通建設事業(A+B)	670,412	845,454	713,809
うち補助(A)	422,705	553,831	343,400
うち単独(B)	247,707	291,623	370,409
災害復旧事業費	—	—	—
失業対策事業費	—	—	—
総 額	3,872,122	4,150,252	4,181,732



中頓別町役場

政策経営課

TEL 01634-6-1111 / FAX 01634-6-1155

Mail koho@town.nakatombetsu.lg.jp

令和 5 年 10 月発行